



**TOKYO DENTAL COLLEGE  
ALUMNI ASSOCIATION**

# *TDC Academia*

**2022**



主催 東京歯科大学同窓会 協力 東京歯科大学

日本歯科医師会生涯研修認定

## ご挨拶



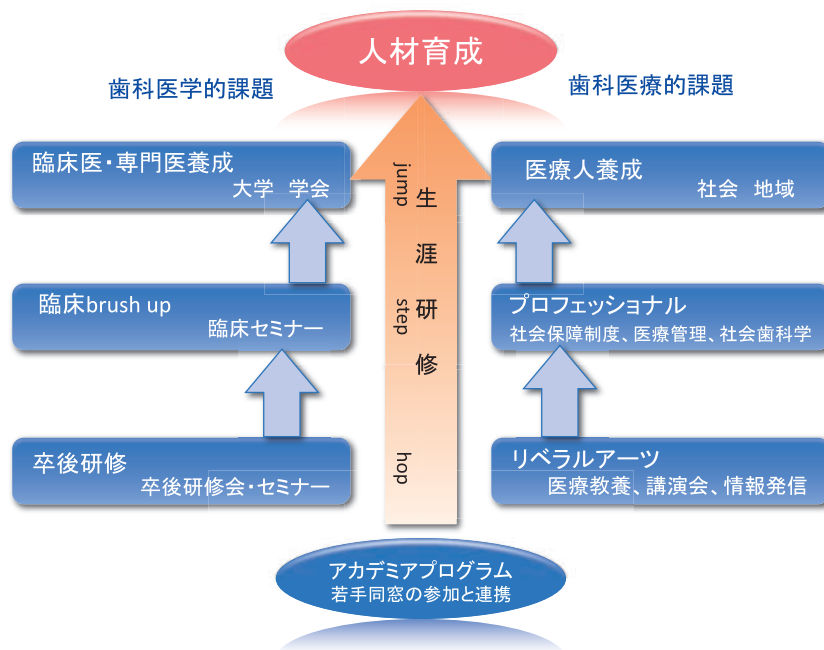
同窓会会長 澁谷 國男

「TDCアカデミア」は、2016年に同窓会120周年を記念し発足され、今年度で7年目を迎えました。「卒後研修」「臨床セミナー」「医療教養」の3本柱のもと、卒後直後の方、ある程度臨床経験を積まれた方、より高度な臨床を目指している方など、それぞれのニーズに適応した生涯研修の場として、先生方にご活用いただいております。

この2年間、昨今の社会情勢を受けて本来のセミナー開催が行えない状況が続いてまいりました。その中で、Web配信を利用したセミナーを開催しその結果、利点も生まれてきております。特に、「卒後研修」の勉強会では様々な地域からの参加があり、遠くはアメリカ・ボストンからの参加も見られました。「臨床セミナー」におきましても、地方からの参加が約半数を占めている状況です。それを受けて、本年度の「医療教養フォーラム」はWeb開催を予定しております。オンラインによるセミナー開催は新たな時代の潮流であり、今後も必要なツールとして活用していく所存です。

しかしながら、「水道橋の校舎に集い、共に学び合う」という、同窓会の本来の在り方は大切にしていきたいと考えます。年に数回、母校の門をくぐり日進月歩の歯科医学や臨床技術を感じることは、必ずや皆様の日々の診療に反映されることでしょうか。多くの先生方にご参加いただけることを切に希望しております。

臨床のみならず人間性豊かで社会性のある歯科医師になれるよう、生涯研修の場をつくり、各分野からの技術、情報、知識、教養を提供いたします。



幅広い分野で活躍できるような人材育成を明確な目標とし、母校での質の高い大学教育を引き継ぎ、卒後の生涯研修のためにアカデミアとして応援していこうという構想です。研修は、歯科医学的課題と歯科医療的課題とを包括的かつ総合的な視点で捉えております。卒後研修では、研修医・卒後の若い先生方が診査・診断、情報収集、治療計画立案、プレゼンテーションといった生涯研修を進める上での基本部分が身につけられます。臨床レベルの向上ならびに専門性の高い技術習得には臨床セミナーを活用していただき、日々の臨床にお役立て下さい。またリベラルアーツでは、医療教養としての知識を講演会を通じて学べ、さらには社会制度の研究や情報提供を通じ、患者さんや社会から望まれる歯科医師像をめざすことを目標としています。

アカデミアプログラムには、hop→step→jumpとして目標設定と継続性を示しておりますが、順番や年齢制限はありません。生涯研修の場としてこのアカデミアを捉えていただき、確固たる臨床医として、医療人となるべく同窓会は支援いたします。

## 卒後研修 「症例を診て、考えて、楽しむ勉強会！」



セミナーや学会には行くけど勉強会は参加したことがない方、一度参加してみませんか！

提示された症例について色々と話を聞いてみたい、困っている自分の症例を相談してみたいと思っている方にとっても参考になる勉強会です。

様々な症例を通じて意見交換し、臨床の現場における引き出しをみんなで増やしていきましょう！

### 症例を通じて Hop、Step、Jump！

1. Hop : 症例(患者)を診るって 何を診ればいいの？
2. Step : 患者の情報って 何を聞いて 何を考えるの？
3. Jump : 治療方法の引き出しを増やすには何をすればいいの？

同窓会学術委員会では以下の3つの勉強会があり、いつ、どこに参加してもOKです。

また、人前で話すのが苦手な方は、慣れるまでは無理に発言等していただくことはありませんので気軽に参加して下さい。



### 参加無料

東京歯科大学水道橋校舎南棟 6F 会議室

#### TDC 卒後研修倶楽部

奇数月第4木曜日 20:00～

症例相談や経過報告などの発表を中心に皆でディスカッションしていく勉強会です。なぜこの患者さんは計画通りに進んだのに、あの患者さんは計画通りに進まないのだろうって思ったことはないですか？その原因を様々な症例から疑似体験し、臨床の現場での直感力や、具体的な診療方法をやしなえる勉強会になっています。

#### 卒研症例検討会

偶数月第4木曜日 20:00～

若手歯科医師向けの研修会です。経験豊富な先生方から1歯単位から口腔内全体を診断するために必要なことを講演として聞けます。参加者の症例を通じて意見交換をすることで、経験者がどのようなことを考えているかを学べる勉強会になっています。

#### デンタルスタッフミーティング

第3水曜日 19:30～

診療に必要な資料(レントゲンや口腔内写真など)や情報の収集や選別の仕方など基礎的なことを中心にすすめている勉強会です。症例を通して、「何が足りなかったか」「他にどんな情報があると有利か」などを意見交換しながらスキルアップを図っております。今まで勉強会に参加したことのない方でも参加しやすい内容となっております。



# 実際どんなことをしているの？

TDC 研修倶楽部・デンタルスタッフミーティング・卒研症例検討会

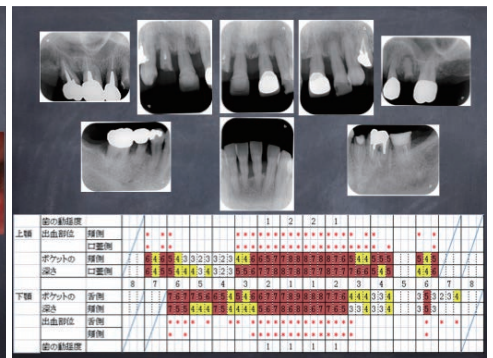
その悩み、みんなで共有し、ディスカッションし、解決していきませんか！

歯科治療には治療の方程式はありません…だからみんな悩むのです。内容こそ違いますが、経験年数に関わらず感じることはないでしょうか。だからこそ生涯研修が重要です。中でもプレゼンテーションとディスカッションは、そんな悩みを解決するとても大切なツールと考えます。あなたの悩みをみんなで共有し、ディスカッションし、解決していきませんか。

## — 実際どのようなことしているのか…ここでは実際に行われた症例を紹介します —

### 症例1 ～どのようにゴールまで導きますか～

- 必要な情報は
- 根拠のある診断とは
- 治療方針はどのように立案しますか
- 実際の治療方法は
- どのような経過を予測できますか
- そして経過は  
などなど…



### 症例2

#### ～デンタルX線写真1枚からどのような情報を得られますか～

- デンタルX線写真には様々な情報が詰まっています。
- 撮影、読像が高いレベルでできるようになると、日々の臨床での診断能力は飛躍的に向上します。



キリトリ線

## Web勉強会を開催しています

新型コロナウイルス感染拡大を受け、TDCアカデミア卒業研修ではWebでの勉強会を開催しています。普通の勉強会と同じようにスライドおよび音声で発表を行い、質問もできます。

遠方の先生も多数参加していますので、お気軽にご参加ください。

参加をご希望の方は同窓会事務局までご連絡ください。

Web配信を受け取れる環境でのパソコンもしくはスマートフォン、タブレット等からメールを送って頂き、開催日当日にWeb勉強会に参加できるID・パスワード情報を送らせて頂きます。



## 事前配信いたします

一度3勉強会のどれかに参加すればメーリングリストに登録し、事前に次回の内容を知ることができます。皆様のご参加、同窓会学術委員一同お待ちしております。

## 睡眠時無呼吸セミナー

東京歯科大学同窓会

「鍵は歯科医師が握る！ 命にかかわる 睡眠時無呼吸！」  
～原因と対処法を徹底解説～

日本には閉塞性睡眠時無呼吸の潜在患者が500万人いると言われています。そんな身近な病気ですが重症例では8年後の死亡率が約40%とも言われる実は恐ろしい疾患であるのです。それにもかかわらず、全体的なリスクが世間に周知されていないことや、自分が無呼吸だということに気づきにくいこと、加療している人がわずかなのではないのでしょうか。葭澤先生は睡眠時無呼吸は歯科医師こそが発見すべき疾患と断言します。しかし、実際には診療をスタートする上で「どんな症状なの？」「そんなに危険なもの？」「どのような治療法があるの？」「保険請求はできるの？」など、疑問がたくさん出てくるのではないのでしょうか。本セミナーでは睡眠時無呼吸の原因と対処法、医院でのスタートアップについて徹底解説します。

明日からの先生の診療が、多くの患者さんの命を救うことにつながります。  
たくさんのご参加お待ちしております。

講師：葭澤 秀一郎

(睡眠歯科リサーチセンター東京)

日時：4月17日(日) 10:00～15:30

場所：東京歯科大学 水道橋校舎新館 11階

定員：60名

受講料：3万5千円

(SOMGauge スターターキット付き)



## 講演内容

- 1) 睡眠時無呼吸が全身に及ぼす影響について
- 2) 歯科医が見るべき口腔内外のポイント
- 3) CT・セファロ画像の読影法
- 4) 治療方法、医院でのスタートアップについて
- 5) 実習(SOMGauge スターターキット付き)

SOMGauge



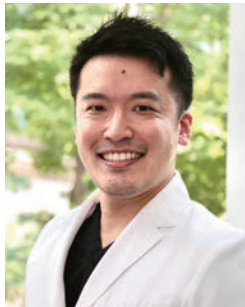
※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

睡眠時無呼吸セミナー	
ふりがな	出身校 (大学)
ご氏名	(年卒)
ご連絡先 住所	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)
TEL	FAX
E-mail	
ご勤務先名	

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じてセミナーを開催する予定ですが状況によりセミナーの内容を一部変更する事がございます。予めご了承ください。今後詳しい情報は逐次同窓会ホームページに掲載いたしますので、そちらをご確認ください。





葭澤 秀一郎 (よしざわ しゅういちろう) 日本睡眠学会歯科専門医

2013年3月 昭和大学歯科補綴学講座大学院修了  
 2013年4月 昭和大学歯科補綴学講座助教  
 2014年4月～2016年3月  
 南カリフォルニア大学Orofacial pain and Oral medicineに研究留学し睡眠時無呼吸、  
 睡眠時ブラキシズムを専門に学ぶ  
 2018年3月 昭和大学補綴学講座退職  
 2018年12月 University of Texas at San Antonio 補綴科Preceptorship program  
 2019年6月 プログラム修了後帰国  
 2019年7月 睡眠歯科リサーチセンター東京開設  
 2021年9月現在  
 東京都・千葉県・神奈川県、福岡県の7件の歯科医院と連携をし、睡眠障害に対する診療  
 環境の構築、治療にあたる  
 所属学会： 日本睡眠学会、日本睡眠歯科学会、米国睡眠医学会、日本補綴歯科学会

主な著書

- 「睡眠歯科医療の正しい普及に向けて」クインテッセンス出版、東京、2020
- 「閉塞性睡眠時無呼吸症候群 (OSAS) 睡眠時無呼吸への歯科的対応と医科との連携方法  
 外来・訪問診療のためのデンタル・メディカルな接点 見逃さないオーラルフレイル 明日から役立つ口腔ケア デンタルがメ  
 ディカルにもたらすメリット」クインテッセンス出版、東京、2017
- 「あなたの周りにいませんか? —睡眠時無呼吸低呼吸症候群— 第1-5回」クインテッセンス出版、東京、2016
- 「パーシャルデンチャーを基本とした欠損補綴の新しい戦略 第二回 欠損歯列における力の考察 —熱可塑性樹脂を用いたRPD  
 の是非とパラファンクションへの対応—」クインテッセンス出版、東京、2013
- 「睡眠時ブラキシズムのClassic Evidence TMD YEAR BOOK 2012 アゴの痛みに対処する」クインテッセンス出版、東京、2012

昨今、テレビや雑誌、インターネットの記事で毎日のように睡眠の話題が取り上げられています。海外の学会に目を向けてみても、補綴系の学会でも睡眠時無呼吸の演題が頻繁に取り上げられるなど、世界中が注目しています。しかし、国内では歯科からの睡眠医療への取り組みは一部の施設に留まり、いまだ十分に普及していないのが現状です。歯科は顎顔面・口腔内の診察、幅広い患者年齢層、定期的なメンテナンスを通して睡眠疾患を発見するのに最適な職種であると考えられます。今回の講演では、単なる無呼吸用マウスピースの処方にとどまらず、気道に注目した歯科医療“Airway Focused Dentistry”を通して「睡眠とはなにか」「歯科医院で我々が睡眠疾患に対し気を配ること」「近医との密な連携法」「治療法の種類」「最新の予防」について紹介したいと思います。多くの睡眠疾患患者を早期発見・治療すること、また小児期からの成長を正しくコントロールすることによりその後の睡眠疾患を予防する、この2つを通して患者の健康寿命を延ばすことがこれからの歯科医療の重要な使命であると考えています。

(Shuichiro Yoshizawa)



# 痛みの診断セミナー

東京歯科大学同窓会

臨床セミナー  
聴講型

## 「その痛み、歯から？」

～もう悩まない！明日から使える診断フローチャート！～

日々の臨床で『痛み』への対応に苦労していることはありませんか？ 痛みの原因が特定できず悪化してしまったり、処置中の歯の痛みがとれなかったり、専門医に相談したくても紹介先がわからず苦慮することなど、痛みを主訴とした患者さんに悩んでいる先生、必見です。

痛みへの対応、治療法について明日からすぐに使える独自の診断フローチャートを用いてわかりやすく解説します。

講師：福田 謙一

(東京歯科大学口腔健康科学講座)

日時：6月12日(日) 10:00～16:00

場所：東京歯科大学 水道橋校舎新館 11階

定員：60名

受講料：2万円



● 痛みの診断セミナー

### 講演内容

- 1) 痛みの「診察・診断・治療」について
- 2) 注射法について(トリガーポイント注射、下顎孔伝達麻酔法)
- 3) 鎮痛剤・痛みの研究・治療の最前線



※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

痛みの診断セミナー	
ふりがな	出身校 (大学)
ご氏名	(年卒)
ご連絡先 住所	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)
TEL	FAX
E-mail	
ご勤務先名	

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じてセミナーを開催する予定ですが状況によりセミナーの内容を一部変更する事がございます。予めご了承ください。今後詳しい情報は逐次同窓会ホームページに掲載いたしますので、そちらをご確認下さい。



福田 謙一 (ふくだ けんいち)

- 1990年 東京歯科大学卒業
- 1990年 同大学歯科麻酔学講座入局
- 1994年 東京大学医学部麻酔科医員 (国内留学～1995年)
- 1997年 アメリカ合衆国 UCLA Habor Medical Center 麻酔科客員研究員 (海外留学～1998年)
- 2004年 東京歯科大学水道橋病院歯科麻酔科/口腔顔面痛みセミナー科長
- 2006年 東京歯科大学口腔健康臨床科学講座歯科麻酔学分野准教授
- 1015年 東京歯科大学口腔健康科学講座/障害者歯科・口腔顔面痛研究室教授 (同大学水道橋病院スペシャルニーズ歯科・ペインクリニック科長)

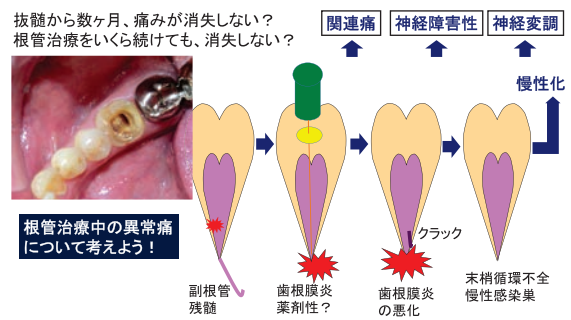
主な著書

- ・「フローチャートでわかる 歯科医院における 50 の痛み」(著書) 医歯薬出版
- ・「歯科医院のための全身疾患医療面接ガイド」(編集/分担執筆) メディア
- ・「歯科における痛みとしびれの臨床」(編集/分担執筆) クインテッセンス 出版

歯科を訪れる患者さんが訴える痛みは、歯髄炎、歯周炎、歯牙破折などの器質的疾患が起因しており、その診断は比較的容易で原因を除去することで容易に除痛できると思います。ところが、患者さんが痛みを訴えるにもかかわらず痛みの原因がわからないで困惑したという御経験がおわりではないでしょうか。また、抜歯後、患者さんが執拗な痛みを訴えるが原因がよくわからないとか、抜歯後の抜歯窩の治癒は良好なのに患者さんが痛みを訴えるといった御経験がおわりではないでしょうか。

本講演では、非歯原性歯痛を中心として、神経痛、顎関節痛、咀嚼筋痛、舌痛、口腔粘膜の異常痛など口腔顔面領域の特殊で難治性の痛みを訴える患者にいかに対応するか、診断チャート等を使用して学んでいただきます。

(Kenichi Fukuda)





## 「この歯を動かしたい！」 ～診療の幅を広げる部分矯正～

日常臨床において、「もう少しこの歯が起きていれば…」 「もう少し歯列が整っていたら…」 という場面に遭遇することは少なくありません。転移歯や前歯部叢生など部分的な歯列不正を正すことは、歯周環境のみならず、当該歯や隣在歯の補綴装置の予後など口腔全体の安定に大きく寄与します。

本セミナーでは、MTMの基礎知識を学んだ後に一般開業医が行ったMTMの症例について矯正専門医がメカニクスや注意点を解説します。

また、小臼歯部の転移歯や大臼歯近心傾斜を想定したタイポドント実習を行い、MTMを行う上での基本的なスキルを身に付けていただきます。

まさに日常臨床がエビデンスに裏打ちされる、すぐに臨床応用できる実習付きセミナーとなっております。

講師：西井 康  
(東京歯科大学 歯科矯正学講座)  
山本 雅通  
(東京都開業)

日時：7月3日(日) 9:00～16:30

場所：東京歯科大学  
水道橋校舎新館 11階

定員：40名

受講料：9万円(前年度同窓会費納入者 8万円)



### 講演内容：

- ・MTMの基礎知識
- ・矯正診断
- ・固定源の考え方
- ・症例提示とその解説・メカニクス

### 実習内容：

- タイポドント実習
- 『小臼歯転移歯および大臼歯近心傾斜』を想定したケース (ワイヤーベディング・ブラケットポジションなど)



※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

<b>MTM 実習セミナー</b>	
ふりがな	出身校 ( ) 大学)
ご氏名	( ) 年卒)
ご連絡先 住所	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください) 〒
TEL	FAX
E-mail	
ご勤務先名	

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じてセミナーを開催する予定ですが状況によりセミナーの内容を一部変更する事がございます。予めご了承ください。今後詳しい情報は逐次同窓会ホームページに掲載いたしますので、そちらをご確認ください。



**西井 康** (にしい やすし)

1986年 東京歯科大学卒業  
 1998年 東京歯科大学歯科矯正学講座 助手  
 2007年 東京歯科大学歯科矯正学講座 助教  
 2007年~2008年  
 University of Southern California  
 歯科矯正学講座に留学  
 2014年 東京歯科大学歯科矯正学講座 講師  
 2018年 東京歯科大学歯科矯正学講座 准教授  
 2019年 東京歯科大学歯科矯正学講座 教授

日本矯正歯科学会指導医  
 日本矯正歯科学会臨床指導医

主な著書

『知ってほしい歯科矯正治療』わかば出版, 2007 (分担執筆)  
 『たったこれだけ! MTM写真でマスターする基本の「き」』ヒョーロンパブリッシャーズ, 2010 (分担執筆)  
 『歯科矯正用アンカースクリューを用いた矯正歯科治療アトラス』株式会社プロシード, 2019 (分担執筆)



**山本 雅通** (やまもと まさみち)

1994年 東京歯科大学卒業  
 広尾デンタルクリニック勤務  
 2002年 山本歯科 勤務  
 2007年 山本歯科 院長  
 2015年 医療法人社団 雅歯会 山本歯科 理事長  
 2020年 東京歯科大学同窓会学術委員 委員長

卒後研修 TDC研修倶楽部 主幹

臨床において、この歯が動かせたら、整直したら、という場面に遭遇することがしばしばあります。MTMは質の高い包括的歯科治療に近づくための一つの選択肢であると思います。パターンを学ぶことは重要ですが、実際の臨床では患者様ごとに様々な状況があり、それに個別に対応していく力が必要となります。そのためには矯正力、固定源の設定、矯正診断などの知識が重要です。

本セミナーでは白歯のアップライト、舌側に転位してしまった小白歯の位置の改善などの一例を実習において治していただき、そのフォースシステムについて考察していただけるような講義を予定しております。皆様の明日の臨床に少しでも幅が広がるようにお役に立てればと思います。

(Yasushi Nishii)



## 「すぐに役立つ臨床のコツ」

～実践スキルの向上 補綴、矯正、ペリオ、口腔外科編～

臨床研修医や研修を終えて間もない先生は、得られた知識や技術を駆使して日々診療に取り組んでいらっしゃると思います。その一方で臨床経験が短いゆえに手技に対する不安もあるのではないのでしょうか。

本セミナーは実践スキルの向上を目指し、支台歯形成、テンポラリークラウンの作製、歯肉縁下になった歯根の挺出法(MTM)さらに豚顎を用いた歯肉剥離(フラップ手術)と縫合、抜歯を分野ごとにブースに分け少人数のテーブルクリニック形式の実習を通して学びます。本セミナーを受講して、不安を自信に変えていただきたいと思います。2018年、2019年と大好評だったセミナーに新たに支台歯形成を取り入れた第三弾です。明日からの臨床にすぐに役立つセミナーです。

ベーシックセミナーは同窓会学術委員による若手歯科医師への支援、応援を目的として開催しており、昨今の社会情勢を踏まえて本学同窓生および本学卒業後5年までの先生は受講料を割引させていただきます。

講師：学術委員(東京歯科大学同窓会)

日時：9月4日(日) 9:00～17:00

場所：東京歯科大学 水道橋校舎新館 11階

定員：60名

受講料：東京歯科大学同窓生(卒業後5年までの先生) 1万円(器材費7千円込み)  
 東京歯科大学同窓生(前年度同窓会費納入者) 2万円(器材費7千円込み)  
 その他 5万円(器材費7千円込み)

実習内容：補綴1 支台歯形成  
 補綴2 テンポラリークラウンの作製  
 ペリオ フラップ手術(切開、剥離、縫合)豚顎使用  
 口腔外科 抜歯・縫合 豚顎使用  
 矯正(MTM) エクストルージョン

\*本セミナーではテキストをWEB上からダウンロードしていただきます。

個人のE-mailアドレスの登録が必須となりますので必ずご記入ください。

当日はダウンロード済みのPC、タブレット等をお持ちください。

\*実習に際し、ご準備いただく器材がございます。(同窓会からの器材の貸し出しはございません。)

尚、実習内容は都合により変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください。

※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。



お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

ベーシックハンズオンセミナー	
ふりがな	出身校 ( ) 大学)
ご氏名	( ) 年卒)
ご連絡先 住所	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください) 〒
TEL	FAX
E-mail	
ご勤務先名	

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じてセミナーを開催する予定ですが状況によりセミナーの内容を一部変更する事がございます。予めご了承ください。今後詳しい情報は逐次同窓会ホームページに掲載いたしますので、そちらをご確認ください。



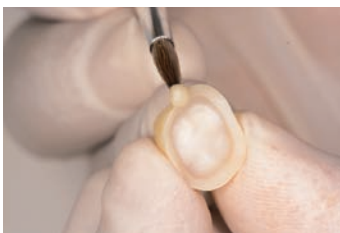
## 実際の歯科臨床においては、実践的な技術が伴っていないことを感じてないでしょうか？

一口腔単位での臨床診断や、治療計画の立案説明、実際の治療などを時間的制約がある中で的確に行うことは難しいものです。そんなプレッシャーを感じる前に、口腔外での擬似的体験を通して、日常臨床の一助にさせていただきたいと思います。



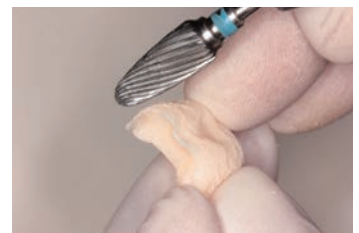
### 支台歯形成

効率よく  
支台歯形成できますか？



### テンポラリークラウンの作製

短時間で作製するコツ



### フラップ手術

切開、歯肉弁の剥離ってどうやるの？  
切開線の設定とデブライドメントのコツ  
豚顎実習



### 抜歯・縫合

抜歯・縫合の基本を取り入れる  
豚顎実習



### MTM

エクストルージョン  
装置の実際、何に気を付ければいいのか？  
(石膏模型実習)



是非、この機会に少しでも臨床の現場で悩まない「臨床のコツ」を身に付けてください。

## 「欠損歯列の対応から見えてくるもの！」 ～長期安定させるポイント 10年後はどうなっている？～

「自分が装着した補綴装置ができるだけ安定するにはどうしたらいいのだろうか？」

「自分の欠損歯列の診査、診断は適切だったのか？」日々悩みは尽きません。

欠損歯列はカリエスのように特定の原因で発症するものとは違い、歯周疾患や不正咬合、「力」など様々な要因が絡み合っていることが知られています。患者の生活習慣や背景などの多様性を考慮に入れて欠損歯列の補綴デザインを論じられることは多いようですが、長寿に耐えうる口腔機能を保全していく明確な解決方法は依然としてわからないままではないでしょうか。

本セミナーでは欠損歯列症例に対し深い洞察力と技術力で対応しておられる3名の先生に、症例を通して欠損補綴に影響を及ぼすファクターと長期経過からみた欠損補綴の評価を考察して参ります

明日からの診断にそして治療計画立案にも役立つセミナーになっております。

講師：森本 達也（静岡県開業）  
松田 光正（熊本県開業）  
鷹岡 竜一（東京都開業）



日時：10月2日(日)  
10:00～16:30

場所：東京歯科大学  
水道橋校舎新館 11階

定員：60名  
受講料：2万円

### 講演内容：

- 1) 欠損歯列の診断を再考する
- 2) 欠損補綴への取り組み方、付き合い方
- 3) 「欠損歯列をどうみるのか」講師によるディスカッション



※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

補綴セミナー	
ふりがな	出身校（大学）
ご氏名	（年卒）
ご連絡先住所	自宅・勤務先（どちらかに○をしてください）
TEL	FAX
E-mail	
ご勤務先名	

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じてセミナーを開催する予定ですが状況によりセミナーの内容を一部変更する事がございます。予めご了承ください。今後詳しい情報は逐次同窓会ホームページに掲載いたしますので、そちらをご確認下さい。



### 森本 達也 (もりもと たつや)

1959年 生まれ  
 1984年 日本大学歯学部卒業  
 1984年 ナオ歯科クリニック (東京都中央区日本橋) 勤務  
 1994年 森本歯科医院 (静岡県富士宮市) 勤務  
 1996年 森本歯科医院 開設

所属団体・スタディグループ  
 ・日本補綴歯科学会  
 ・日本顎咬合学会  
 ・包括歯科医療研究会  
 ・臨床歯科を語る会

欠損歯列は欠損を起こした疾患と欠損に伴う障害が混在しているため、病態把握には疾病の診断と障害の程度を評価する必要があります。

しかし現時点では評価項目・評価基準も不明確で、感染症のような診査→診断→治療という流れと異なり、治療が診断・評価を兼ねる場合や、経過からの情報を参考に対応する事もあります。

今回は症例により、どのような評価項目に着目し、どう対応してきたかを提示し、臨床の参考になればと考えています。  
 (Tatsuya Morimoto)



### 松田 光正 (まつだ こうせい)

1960年 生まれ  
 1985年 東京歯科大学卒業  
 1993年 松田歯科医院を継承、現在に至る

所属団体・スタディグループ  
 ・日本歯周病学会 (専門医、指導医)  
 ・日本口腔インプラント学会 (専門医)  
 ・日本補綴歯科学会  
 ・1985～熊本デンティストミーティング (KDM)  
 ・1992～臨床歯科を語る会

自分が行った欠損補綴の予後予測を行うことはいくら臨床経験を積んでも難しいものです。しかし綿密な欠損歯列の診断で症例のスクリーニングを行い、テンポラリーで最終補綴のイメージを膨らませ、補綴後の経過観察と的確な術後対応を行うことで臆げながらも症例の未来予測は可能になり、ひいては長期安定につながるのではないかと考えています。  
 (Kosei Matsuda)



### 鷹岡 竜一 (たかおか りゅういち)

1964年 生まれ  
 1990年 日本大学歯学部卒業  
 同年鉄鋼ビル歯科診療所勤務 (宮地建夫先生に師事)  
 1995年 現在地に開業

所属団体・スタディグループ  
 ・火曜会  
 ・臨床歯科を語る会  
 ・日本歯科医師会雑誌編集委員 (2015～)

術者は、欠損歯列の評価を処置方針に結びつけようとする客観性を失い多様性の暗闇に迷い込みます。処置方針の選択では、多様な患者の要望や生活環境、社会的背景も浮き彫りになり欠損補綴はバラツキから逃れられません。今回の講演では欠損補綴の選択に悩む症例を取り上げ、欠損歯列と欠損補綴を結びつける糸口を探ってみたいと考えています。  
 (Ryuichi Takaoka)



## 「地域での健康づくりにおける多職種連携と歯科専門家の役割」

若年者のう蝕の減少や高齢者の現在歯の増加など、近年、国民の口腔保健は良好な状態に改善してきている。一方で、地域全体に目を向けると、かならずしも十分ではなく、健康格差の拡大が課題となっている。そして、歯科は、歯科医院に来院する患者の歯科疾患の治療だけでなく、食を中心とした地域社会における健康づくりの中心的役割を果たすことが求められてきている。

そのような社会変化の中で、全国の各地域で、「暮らしの保健室」などを通じて、多職種で連携して、生活者目線での様々な取り組みが始まっている。そこで、今年度のフォーラムでは、全国で行われている多職種で連携した健康づくりへの取り組みを共有して、参加者の各地域にあった、歯科専門家の参画する健康づくり活動を模索することを目的としたフォーラムです。

講師：栗崎 新也（愛知県開業）  
齋藤 貴之（東京都開業）  
松浦 信一（北海道開業）

日時：11月13日（日）  
10：00～12：30

配信方法：Webにて配信

定員：80名

受講料：無料



### 講演内容：

- 1) 歯科医院での子育て支援
- 2) 「暮らしの保健室」での食支援
- 3) 多職種連携での健康づくり

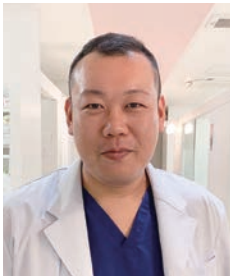


※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

医療教養フォーラム	
ふりがな	出身校（大学）
ご氏名	（年卒）
ご連絡先 住所	自宅・勤務先（どちらかに○をしてください）
TEL	FAX
E-mail	
ご勤務先名	

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じてセミナーを開催する予定ですが状況によりセミナーの内容を一部変更する事がございます。予めご了承ください。今後詳しい情報は逐次同窓会ホームページに掲載いたしますので、そちらをご確認ください。



栗崎 新也 (くりさき しんや)

2007年 朝日大学 歯学部卒業  
 2008年 明海大学 歯学部付属病院勤務  
 2009年 朝日大学 歯学部付属病院麻酔科勤務  
 2011年 栗崎歯科医院 非常勤歯科医師  
 2014年～2020年  
 名古屋歯科保健医療センター非常勤勤務  
 2015年～2018年  
 名古屋デンタル衛生学院 非常勤講師

2015年 くりさき歯科・こども歯科 常勤歯科医師  
 2017年 摂食嚥下リハビリテーション学会認定士  
 取得  
 2019年 日本障害者歯科学会認定医

### 「歯科医院に併設した認定栄養ケアステーションの役割と活動について」

認定栄養ケアステーションとは、2018年より日本栄養士会が認定する栄養ケアステーションであり、栄養相談、栄養指導等を行う栄養に係る地域の拠点としての役割を担う場所と定められている。

当法人では、歯科医院内に併設した認定栄養ケアステーションを2020年より開設し、歯科医院との連携下及び栄養ケアステーション独自の活動を行っている。

当院では、う蝕、摂食機能障害、口腔機能発達不全症、口腔機能低下症を中心とした治療を行う上で、管理栄養士による外来栄養食事指導、訪問栄養食事指導を全てのケースに導入し、患者のQOLの向上に努めている。

昨今、保険診療は治療から重症化予防、継続管理に重きが置かれる中、管理栄養士による栄養食事指導を行う事が歯科疾患の重症化予防に繋がると考えている。

(Shinya Kurisaki)



齋藤 貴之 (さいとう たかゆき)

2003年3月 東京歯科大学卒業  
 2007年3月 東京歯科大学 大学院歯学研究科修了  
 (老年歯科補綴学)  
 2014年4月 東京歯科大学口腔健康科学講座 摂食嚥下  
 リハビリテーション研究室非常勤講師  
 2018年4月 東京歯科大学千葉歯科医療センター 摂食  
 嚥下リハビリテーション科 臨床講師  
 2020年4月 ごはんがたべたい歯科クリニック院長

歯学博士 (老年歯科補綴学)  
 一般社団法人日本老年歯科医学会 認定医・  
 専門医・指導医・摂食機能療法専門歯科医師  
 一般社団法人日本摂食嚥下リハビリテーシ  
 ン学会 認定士  
 一般社団法人暮らしの保健室かなで 理事  
 介護支援専門員

### コミュニティカフェ(サロン)を活用した健康づくり

地域でフレイルや認知症の方を支えるためには従来の医療行為だけでなく、地域を巻き込んだ生活支援も必要になってくる。

オーラルフレイルから嚥下障害にならないように歯科が食形態の調整や栄養指導、口腔リハビリなどの食支援を行うことに加えて、最近では「通いの場」などを通して高齢者の社会参加を促し、健康な方がオーラルフレイルにならない取り組みにも歯科の協力が求められるようになってきている。

本フォーラムでは現在取り組んでいるコミュニティカフェを利用した地域支援や低栄養・介護重症化予防の取り組み、摂食嚥下障害患者の外出支援や買い物支援など、「食べる」をきっかけとしてその先の社会参加を作る活動について紹介していく予定である。

(Takayuki Saito)



松浦 信一 (まつうら しんいち)

1988年3月 東京歯科大学卒業  
 1992年9月 医療法人社団 新崎歯科医院勤務  
 1992年11月 松浦歯科医院開業  
 現在に至る

北見歯科医師会 会長 (2019～)  
 北海道保険医協会 オホーツク支部 支部長  
 (2013～2018)  
 全国訪問歯科研究会 会員  
 北見摂食嚥下ケア研究会 会長  
 北海道日本赤十字看護大学 非常勤講師  
 (口腔保健論)

### 北見摂食嚥下ケア研究会はどのように多職種と連携してきたか

少子高齢化社会の中で、地域で働く多職種の顔と名前が見える関係をつくり、現場の声を反映し、互いの領域を超えて理解し合う関係にしていけることが、必要不可欠だと考えております。

地域での限られた医療・介護資源をどう機能させていくか、生活の視点で動く介護職と、治療の立場から動く医療職が、互いに理解し合うことを何よりも優先されなければならない中で、その役割を果たすことが出来るのは、「生活の医療」を推し進めてきた私達歯科が、その一躍を担っているのではないかと考えます。

そこでこの地域で頑張っている医療職、介護職の仲間を多く募り、顔と名前が見える関係づくりを真剣に目指して北見摂食嚥下ケア研究会を立ち上げました。当初は思うように活動は出来ず、苦戦の連続でした。

しかし地道に活動を続けていくうちに、問題を乗り越え少しずつではありますが、形というものが出来てきました。

課題や目指すべき姿も見えてきたような気がします。その様な想いで今日まで活動してきた経過、これからどのように地域で展開をしていくかなど報告させていただければと思います。

(Shinichi Matsuura)

- 卒後研修** …………… 臨床研修医から若手歯科医師を対象に、診査診断、情報収集と記録、治療計画、予後予測、プレゼン方法を学び、生涯研修の基本を身につけることを目的としています。各研修会、症例検討会、ベーシックセミナーを通して、日常臨床の基本を学べます。
- 臨床セミナー** …………… すべての臨床医へ、基本手技から専門的知識と技術、先進医療など、臨床レベルの向上につながるセミナーを提供することを目的としています。セミナーを通じ、日常臨床のスキルアップ、臨床対応の選択肢が広がるよう、各専門的立場の先生方からお伝えいたします。
- 医療教養** …………… 若手歯科医師からベテラン歯科医師まで、教養学習を通して社会性や歯科医療倫理観を高めることを目的としています。講演会、研究発表、グループ活動報告などの情報発信を通して、歯科医療の課題について共に研鑽いたします。

## 卒後研修

TDC 卒後研修倶楽部	奇数月第4木曜日	20:00～
卒研症例検討会	偶数月第4木曜日	20:00～
デンタルスタッフミーティング	第3水曜日	19:30～

## 臨床セミナー

- 4月17日(日) **睡眠時無呼吸セミナー**  
 「鍵は歯科医師が握る！ 命にかかわる 睡眠時無呼吸！」  
 ～原因と対処法を徹底解説～  
 講師：葭澤 秀一郎（睡眠歯科リサーチセンター東京）
- 6月12日(日) **痛みの診断セミナー**  
 「その痛み、歯から？」  
 ～もう悩まない！明日から使える診断フローチャート！～  
 講師：福田 謙一（東京歯科大学口腔健康科学講座）
- 7月 3日(日) **MTM実習セミナー**  
 「この歯を動かしたい！」  
 ～診療の幅を広げる部分矯正～  
 講師：西井 康（東京歯科大学 矯正歯科学講座）  
 山本 雅通（東京都開業）
- 9月 4日(日) **ベーシックハンズオンセミナー**  
 「すぐに役立つ臨床のコツ」  
 ～実践スキルの向上 補綴、矯正、ペリオ、口腔外科編～  
 講師：学 術 委 員（東京歯科大学同窓会）
- 10月 2日(日) **補綴セミナー**  
 「欠損歯列の対応から見えてくるもの！」  
 ～長期安定させるポイント 10年後はどうなっている？～  
 講師：森本 達也（静岡県開業）  
 松田 光正（熊本県開業）  
 鷹岡 竜一（東京都開業）

## 医療教養

- 11月13日(日) **医療教養フォーラム**  
 「地域での健康づくりにおける多職種連携と歯科専門家の役割」  
 講師：栗崎 新也（愛知県開業）  
 齋藤 貴之（東京都開業）  
 松浦 信一（北海道開業）



新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じてセミナーを開催する予定ですが状況によりセミナーの内容を一部変更する事がございます。予めご了承ください。



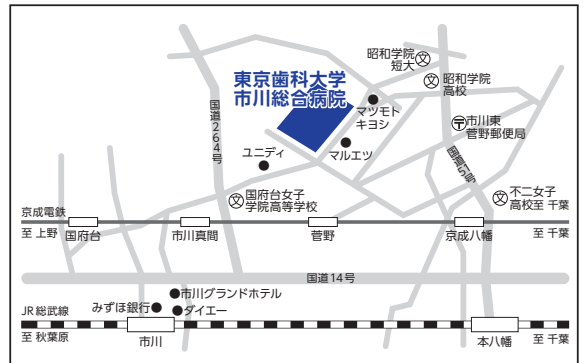
## 会場について

- 東京歯科大学水道橋校舎本館
  - 東京歯科大学水道橋校舎南棟
  - 東京歯科大学水道橋校舎新館
- JR「水道橋駅」東口下車（御茶ノ水寄り出口）  
都営三田線「水道橋駅」徒歩5分
- 東京歯科大学市川総合病院
- JR総武線「市川駅」下車 2番停留所より、京成バス「市川学園」行き（緑色表示）にて「市川総合病院」下車、約15分
- \*駐車場は用意できません。車での来場はご遠慮ください。  
\*セミナー会場は直前のご案内にてご確認ください。



## 受講申し込みについて

セミナーごとに申し込み用紙があります。  
所定の申し込み用紙に必要事項を記載の上、FAXにて送信いただくか、同窓会HPよりWebにてお申し込みください。  
FAX 03-3264-4859 (東京歯科大学同窓会事務局)  
<http://www.tdc-alumni.jp>



## 必要記載事項

- ①氏名・ふりがな
  - ②ご連絡先となる 郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、勤務先名
  - ③職種 歯科医師(出身大学・卒業年度)、臨床研修医(出身大学)  
歯科衛生士、コ・デンタルスタッフ、その他
- \*もれなくご記載ください。記載不備の場合、正式申し込みにならない場合があります。

## 申し込み時の注意事項について

- ・受付は先着順とし、お申し込み受付後、振込用紙(銀行・郵便局両用)をお送りいたします。
- ・振込用紙送付時に指定した期日までに受講料をご入金ください。
- ・受講料は消費税込みとなっております。
- ・入金の確認をもって受講受付完了とし、後日受講票および受講案内をお送りいたします。  
なお領収書は振込金受領証をもってかえさせていただきます。
- ・入金前にキャンセルをご希望の方は必ずご連絡ください。
- ・入金後の受講料のご返金はいたしませんので、あらかじめご了承ください。  
(ご欠席なさる場合は、代理の出席が可能です)
- 但し、主催側の事情により中止した場合は受講料の返金をいたします。
- ・プログラムの内容は、やむを得ず変更となる場合がありますので、ご了承下さい。
- ・本セミナーは、日本歯科医師会の生涯研修事業に認定されております。研修登録用ICカードをお持ちください。

\*東京歯科大学同窓会は、本セミナーの参加申し込みにより取得した個人情報を厳重に管理し、予めご本人の同意を得ることなく、第三者に提供することはありません。

東京歯科大学同窓会での個人情報の利用目的は下記の通りです。

1. 本セミナーの運営および、それにとまなうご連絡。
2. 東京歯科大学同窓会からの各種情報のご案内。



セミナーお申し込みはこちらから

## 東京歯科大学同窓会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-9-18  
東京歯科大学同窓会事務局

TEL 03-6261-6631 FAX 03-3264-4859  
URL <http://www.tdc-alumni.jp>



